



1分でわかる歯科治療の話

歯の詰めもの・被せもの

# 保険で治す 自費で治す

保険診療と自由診療との  
違いがよくわかります



SAMPLE



皆様、こんにちは  
この小冊子では  
保険で治す歯と  
自費で治す歯の違いを  
ご説明しております



歯科治療の中でも  
ほつ補綴治療と呼ばれる  
詰め物や被せ物は

当院では  
日々、最新の技術習得に  
取り組んでいます



保険であれ自費であれ  
優れた技術と  
経験が必要な  
治療です



保険適用の「詰め物・被せ物」

**銀歯** (金銀パラジウム合金など)

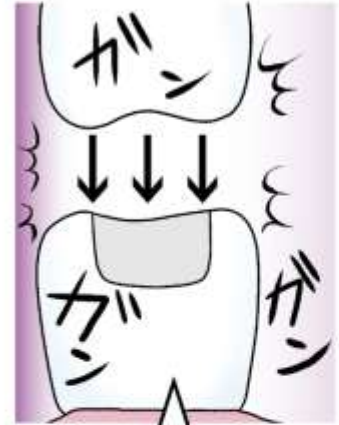
銀歯のメリット



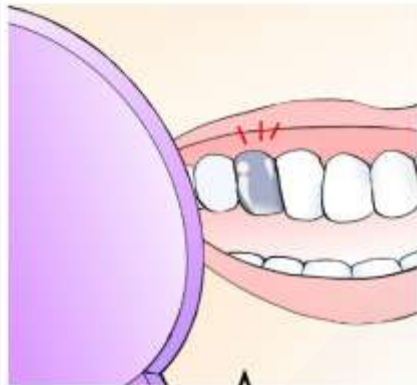
保険制度そのものは  
決して悪いものでは  
ありません



保険が適用  
(治療費が安価)



材質自体が頑丈



見た目が悪い

金属アレルギー



歯ぐきの変色



むし歯が再発  
しやすい

銀歯のデメリット



むし歯の再発は  
歯の寿命を大きく  
縮めてしまいます



保険適用の「詰め物・被せ物」

# ハイブリッドレジン CAD/CAM冠

## ハイブリッドレジンのメリット



保険の治療でも  
プラスチック製の  
白い歯を選べる  
ようになりました



銀歯と同じく  
保険が適用

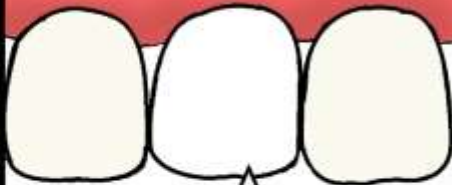
※適用条件あり

金属アレルギーの  
心配が無い



銀歯と比べ  
見た目が良い

白さが逆に目立ってしまう..



色合いのバリエーションが  
乏しいため、周りの歯との  
色味が合わない

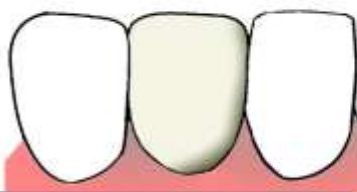
## ハイブリッドレジンのデメリット



外れやすい  
割れやすいなど  
強度面には  
やや不安がある

治療のために  
歯を削る量が多い

素材の性質上、  
変色しやすく  
プラーク(歯垢)も  
付きやすい



歯の寿命に繋がる  
デメリットが  
若干多い印象です



自由診療の「詰め物・被せ物」

# セラミッククラウン・インレー

## セラミックのデメリット



セラミックと言えど天然歯には敵いません



保険は適用外



繊細な材質のため噛み合わせ等を考慮した治療計画が必要です

## セラミックのメリット



周りの歯との違いがまったくわからないくらい透明感のある美しさを実現

プラークが付きにくく天然歯との適合性にも優れているため、むし歯再発リスクが低い



お口の中の状況に合わせた素材を選ぶことができる



審美性重視なら オールセラミック 強度が必要なら シルコニア

※一例です

結果的に歯、そのもの寿命を長くできることが一番のメリット！



治療後のアフターケアが大切です

## 保険・自費に共通した注意点

- ・綿密な治療計画の立案
- ・丁寧で分かりやすい説明
- ・歯科技工技術



保険・自費に関わらず、  
これらの要素も  
重要になってきます

あなたの歯は  
最高級セラミック  
でしか治せません

補綴治療は  
材料の違いは  
良し悪しを決める  
ものではなく



歯とお口の継続的な  
メインテナンスを  
お続け頂くことが  
とても大切です

今後は出来るだけ  
大きな歯科治療を  
受けずに済むため  
ご家庭でのケア

そして何よりも  
大切なことは  
治療後の  
メインテナンス

きちんと歯を治す事が  
より多くの歯を残す事に  
繋がります！





歯とお口の事なら何でもご相談ください



デントスマイルシステムズ歯科

☎0561-42-5580



〒489-0975

愛知県瀬戸市山の田町62-8

<https://www.nyantal-dental.online/>

初診Web予約もこちらのQRコードからどうぞ